

Q7. 出力の線の色は何を意味しているのですか？

A7. 出力側の線の色は赤・白・黄色...と非常にカラフルです。パソコン用の電源には5Vを始め、いくつかの種類が出力されていることはご存じでしょう。ATX Ver.2.01の仕様では、電源入出力の各線の色は次のように定められています。

表 6.3 各入出力線と線の色関係

線の色	名称	説明
Orange	+3.3VDC	+3.3V 直流出力
Red	+5VDC	+5V 直流出力
Yellow	+12VDC	+12V 直流出力
Blue	-12VDC	-12V 直流出力
White	-5VDC	-5V 直流出力
Purple	+5VSB	+5V 直流出力(常時出力) コンセントに接続している時には常に出力される
Black	COM	共通レベル(各出力の戻り、0Vのレベル)
Green	PS ON	電源 ON/OFF コントロール信号 PS ON 端子が COM 端子と同じ電圧レベル(Low レベル)になると ON 状態になり、電源の全ての電圧が出力される。
Gray	PWR OK	電源出力 OK 信号 PS ON が ON 状態の時、+3.3VDC、+5VDC が十分エネルギー供給可能であるときに出力される信号。
Brown	3.3Vsense	3.3V 出力センシング +3.3VDC の出力電圧が丁度 3.3V になるようにするためのセンサーの役割を果たす端子。

ここで定められている線の色は ATX 2.01 の仕様上の色であって、実際に電源を国内で販売する上では若干の配慮が必要であると考えられます。たとえば、Green に関しては、Green と White の組み合わせでアース線を意味することから、あえて当社では Green を出力側には使用していません。また、各社・各製品によって配色が変わる可能性がありますので、この製品の仕様(銘板シールなど)を確認する必要があります。(たとえば、PCSA-300P-X2SのPS-ONはGrayです。弊社の製品は各出力・信号線の配色を銘板シールに記述してありますので、こちらを参照下さい。)

但し、+5V の Red、+12V の Yellow、COM の Black に関してはほとんどの場合共通化されています。